

長野県企業局の湯の瀬いとおしき発電所電力の売電業務契約候補者選定基準及び配点

項目	評価事項	評価の観点	配点
売電価格	1 電力価値及び環境価値	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長野県産水力としての評価に値する価格であるか $\{ \text{電力価値 (円/kWh)} + \text{環境価値 (円/kWh)} \} \times \text{下限価格 (円/kWh)}$ $\times \text{卸売電予定電力量 (千 kWh)} = \text{総額 (千円、税抜)}$ ○ 下限価格以上の提案であるか 	60
販売計画（小売先と、それによって期待される効果）	2 脱炭素化推進の取組実績と今回の卸電力購入を契機とした今後の取組	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小売電気事業者及び販売計画で想定する需要家の取組実績・需要家数と、県施策へのこれまでの貢献 <p>【今後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今回の卸電力購入にあたって想定する小売先（需要家）の想定と、それによって期待される脱炭素化推進に係る効果 <p>※ ①PPA、②PPA+一般小売、③一般小売 等を想定 ①②③の共通で、小売電気事業者及び小売先（需要家）の取組と、波及効果（水力発電の新規開発及び利活用の促進につながる取組となっているか） ①②のPPAは、需要家を特定（複数者可）して提案すること ②③の一般小売は、小売先（需要家）の需要家数を記載して提案すること</p> <p>※「実績」「今後」とも県内における取組を特に評価する。</p>	15
	3 地域内経済循環につながる地域との連携・協働等の取組実績と今回の卸電力購入を契機とした今後の取組	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域内経済循環に資する取組があるか 需要家の取組を評価（県内での地域活動や自治体等との連携、需要家数及び需要家の意識等） ○ 県内自治体等との連携、協働の取組があるか ○ 小売電気事業者・小売先（需要家）の地域性（県内本社・県内拠点・需要家数等） <p>【今後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今回の卸電力購入を契機とした今後の取組と期待される効果 ○ 小売先（需要家）にはどのようなメリットがあるか ○ 販売計画において、県内で消費する割合を評価 <p>※「実績」「今後」とも県内における取組を特に評価する。</p>	15
	4 小売先（需要家）の経営状況等	<ul style="list-style-type: none"> ○ PPAの場合：財務諸表から、収益性、安定性があると評価できるか ○ 一般小売の場合：小売電気事業者の小売実績と今回の卸売電の比率（世帯数比率）から評価 	5
経営状況	5 小売電気事業者の経営状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 財務諸表から、収益性、安全性があると評価できるか 	5
合　　計			100